

夏季における留意事項
～ 改めて感染防止を徹底、身近なところから活動を広げよう

市民の皆さま、事業者の皆さまには、新型コロナウイルスの感染防止と社会経済活動の段階的な回復に日々ご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。とりわけ、医療の最前線で献身的に従事されている医療・保健関係者の皆さまに、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

夏季休暇の季節となり、国による「Go To トラベルキャンペーン」も始まりました。緊急事態宣言解除後の人の動きとしては、これまでの局面以上に多く、広域にわたって行くことが予想されます。

一方、新型コロナウイルスの感染動向については、本市・本県では7月14日以降、新規感染者は確認されていないものの、東京都において感染が拡大し、全国的に増加しており、本市への波及も予断を許さない状況にあります。

市民の皆さま、事業者の皆さまには、次の事項に十分留意の上、「新しい生活様式」の一層の定着を図りながら、感染防止の取組を改めて確認し、その徹底を図るとともに、過剰に萎縮することなく段階的に活動の範囲を広げ、感染防止と社会経済活動の両立に努めていただきますようお願いいたします。

<今回特にお願したいこと>

- ① 観光客等他地域からの来訪者に対応する事業者の皆さまには、感染防止対策が十分かどうか改めて確認し、その徹底を図ってください。対策の強化が必要な場合には、様々な支援策を活用しつつ、その速やかな実施をお願いします。
- ② 発熱等の症状のある方には、県内への移動を見送るよう働きかけるとともに、旅行等の途中で判明した場合は、旅行等の中止を促すか、感染させないような措置を講じて帰国者・接触者相談センター（0120-567-747）又は医療機関等にご相談ください。
- ③ 発熱等の症状のある市民は、都道府県を跨ぐ移動はもとより、外出自体控えるようお願いします。
- ④ 東京都など感染が拡大している地域では、特定の地区・業種での多発がみられます。県外に移動する場合には、こうした移動先の感染状況を十分に確認し、3密となるような場所や感染防止対策が徹底されていない施設等はできるだけ避ける、マスク着用等の感染防止対策を徹底するなど、より一層の慎重な行動をお願いします。
- ⑤ 相対的に感染リスクの高い地域に移動する場合や、そうした地域から家族等が訪れる場合等には、移動後2週間の行動歴を記録するなど、感染拡大防止にご協力をお願いいたします。
- ⑥ 発熱や咳などの症状があり不安がある方は、早めに帰国者・接触者相談センター（0120-567-747）にご相談ください。
- ⑦ 夏季は、熱中症対策も大切です。屋外で人と人との距離をとることができる場合はマスクを外すなどの工夫をしながら、「新しい生活様式」との両立を図ってください。
- ⑧ 当面は、できる限り近場での活動を優先してください。国の「Go To トラベルキャンペーン」が始まりましたが、市内には、「古閑裕而」や連続テレビ小説「エール」に関連した名所や個性

豊かな温泉、果物をはじめおいしい食べ物を楽しめる観光農園や直売所、飲食店など、多くの観光資源があります。幅広いお店等でご利用いただける「ふくしま市民生活エールクーポン」がスタートし、県民限定の県による宿泊割引など身近で活用できる様々な優遇制度があります。この機会に、ぜひ、身近なところの魅力を味わってみてください。

<引き続きお願いしたいこと>

- ⑨ 「新しい生活様式」の導入・定着への取組をお願いします。3密を避ける、マスクを着用する、人と人との距離をとった対策を励行するとともに、オンライン会議、電子決済などICTの活用を進めましょう。事業者の皆さまには、「新しい生活様式」の導入に対する国・市の支援制度がありますので、ご活用ください。
- ⑩ スマートフォンをお持ちの方には、ぜひ政府提供の接触確認アプリ「COCOA」の導入を検討してください。多くの方に導入いただくことで、濃厚接触の確認がより円滑になります。
- ⑪ イベント等の開催については、8月以降も参加人数が屋内・屋外とも5000人以下で可能です。開催に当たっては、屋内では収容定員の半分以下の人数とするなど、距離を十分確保してください。

主催者は、感染者が発生した場合に備え、参加者の連絡先の登録を求め、接触確認アプリ「COCOA」の活用を促すなど、感染拡大の防止にご協力をお願いします。

なお、イベント等の開催については、商店街等が開催するイベント等への支援のほか、市民が実施する様々な行事への民間施設の会場使用料補助や市施設使用料の減免も設けておりますので、ご活用ください。

- ⑫ 避難が必要となるような大雨が頻発する傾向にあり、これまで以上に避難所における感染防止対策に留意し、分散避難を進める必要があります。市民の皆さまには、ハザードマップ等により自宅の浸水可能性を確認の上、「安全な自宅に留まる」「安全な親戚・知人宅に避難する」「避難所に避難する」など、どのような避難行動をとるか、家族間で具体的に検討し共有するようお願いいたします。

今後の気象情報、避難情報にも十分ご注意ください。

新型コロナウイルスとの闘いは、長期戦を覚悟しなければなりません。新型コロナウイルスが共存する環境の中で、市民の皆さま、事業者の皆さまとともに、「新しい生活様式」の定着を図り、感染防止と社会経済活動の両立を図っていきたくと思います。

感染症の患者さんやご家族、医療関係者等への偏見・差別、誹謗・中傷は、人を傷つけ、地域の分断も招きます。決して行わないよう、強くお願いいたします。

力を合わせて、この難局を乗り越え、新型コロナウイルスへの抵抗力の強い新しい社会を築いていきましょう！

令和2年7月22日

福島市長 木幡 浩